



平成20年(2008年) 3月27日発行

ふくしまファンクラブ 会報

第4号



ふくしま 味と技

「手前みそ」ということわざがあるように、昔から家庭ごとの味があるみそ。地域によっても味や色、香りにそれぞれ特徴があります。
今回は、今年1月に福島県ブランド認証を受けたみそを紹介いたします。白河市でみそ「秘伝」を製造販売している鈴木靴店でお話を伺いました。

◆ みそづくりのはじめ ◆

みそは、大豆・米糀・塩というシンプルな素材から出来上がるので、素材選びと作り上げる工程によって、味・香り・うま味が変わってきます。
発酵を促すための糀造りには、地元産の米を使います。季節や温度などに左右されやすい糀を同じ品質で造りあげるため、長年の経験で培った温度と湿度設定を厳重に管理しています。出来上がった糀は、手作業で確認します。

さらに、土蔵と同じ環境の貯蔵庫の中で、1年かけてじっくりと発酵させる天然醸造仕込みで熟成させています。

◆ 「秘伝」のこだわり ◆

農家から大豆を預かりみそを仕込む委託加工で、たくさん種類の豆を扱ったことにより、味・香り・うま味に特徴のある青豆系の「秘伝大豆」に辿り着きました。

こだわりの糀も通常より多く使用し、にがりの入った塩を用い、50年使い続けている木桶のなかで、自然が醸し出す時間を待つて熟成させています。

◆ 「秘伝」を味わう ◆

「秘伝」の特徴でもある独特の香りや甘みを感じるには、キュウリに付けたり、みそおにぎりがお勧め。もちろんみそ汁も美味しいですよ。

購入した後も温度管理が大切なので、保存は冷蔵庫へ。長期保存の場合は、乾燥に気をつけて冷凍庫へ。菌の活動が止まるので、買ったときと同じ品質のものが味わえます。

90年余りの歴史をもつ鈴木靴店。今は主に四代目の喜美さん・恵子さんご夫婦と五代目の賢さん・直美さんご夫婦

の4人で製造から販売までの全作業をこなし、常にお客様の声を大事にされています。三代目の啓市さん・フジさんご夫婦も時折、アドバイスをしてくれるそうです。東京などでの物産展にも年10回ほど参加し、お客さんとの触れ合いが楽しみ、という喜美さん。
自然の優しい味がするこだわりのみそ、ぜひ味わってみませんか。

◆ ◆

「秘伝」など福島の商品は、「ふくしま市場」(イトーヨーカドー 葛西店内 東京都江戸川区東葛西9-3-3 電話03-5659-762)で取り扱っています。



①ご家族のチームワークと信頼関係が、優しい味の製品を作り上げています ②創業した大正11年頃の写真 ③右が青豆系の「秘伝大豆」 ④できあがった糀を手作業で確認していきます ⑤500キロの仕込みができる木桶。桶を修理できる職人さんがいなくなってしまったそう、大切に扱われています ⑥温かい雰囲気のある店内 ⑦ブランド認証された「秘伝」



Reason to Live in Fukushima

ふくしまに住む

今回は、スポーツを通じた特色ある地域づくりを行っている双葉地域をご紹介します。



スポーツの喜びや楽しみを体感できる施設「J-Village」

J Village

ジエイヴィレッジ

Jヴィレッジは、福島県、日本サッカー協会、東京電力が連携して作った日本サッカーのナショナルトレーニングセンターです。サッカー日本代表やJリーグのチームの合宿が頻繁に行われ、なでしこリーグ(女子サッカーリーグ)マリーゼのホームグラウンドでもあります。

■ 世界の一流に触れる

Jヴィレッジでは、日本代表が練習に使用するまさにそのフィールドを、サッカーの合宿や練習などで利用することができます。また、至る所に日本代表チームのほか、アルゼンチン代表チームなど世界のナショナルチームのサインやユニフォームなども飾られています。世界の一流の雰囲気に触れることができる、国内でも唯一と

いえる場所です。

■ 食も一流です

目の前には海、後ろには里山という恵まれた環境をフルに活かし、レストランでは可能な限り、食材を地元から調達しています。料理長は、2006年ワールドカップドイツ大会の時に日本チームのシェフを務めており、ここでも一流の食を味わうことができます。

■ 地域全体を味わう

サッカー場のほかにもテニスコートやプール、フィットネスクラブなども楽しむことができます。ホテルのように宿泊もできるので、近くに温泉などゆつくり巡るのもいいかもしれません。

J-Village
楢葉町大字山田岡字美森8
0240-26-0111

富岡高校

とみわかこうこう

双葉地区では、日本サッカー協会などと連携し、世界を舞台に活躍できる人材の育成を目指した教育が行われていいます。その目玉が、一昨年4月に国際・スポーツ科を新設し生まれ変わった「県立富岡高校」です。国際・スポーツ科には国際コミュニケーション、福祉健康、国際スポーツの三つのコースがあります。

■ 一流の指導と環境

富岡高校の特色はいろいろありますが、国際スポーツコースでは、日本サッカー協会の指導者や財団法人福島県体育協会派遣のコーチの指導を受けられます。施設も充実しており、生徒たちは最高の環境のなかでトレーニングを受けることができます。

■ 日本代表と対戦

ワールドカップドイツ大会直前、Jヴィレッジで日本代表チームと練習試合を行った高校生チームが、まさに富岡高校でした。この対戦は、生徒たちの心にかけてがえない思い出として残っています。Jヴィレッジに近い、富岡高校ならではのことでしよう。

■ 世界に通用する人材

富岡高校では、国際的な雰囲気の中で授業が行われています。他国の人とのコミュニケーションをとる機会も多く、生徒たちがきちんと自分の考えを伝えることができます。この生徒たちの中から世界で活躍する人物が生まれるのもそう遠い日ではないかもしれません。

福島県立富岡高等学校
富岡町大字小浜字中央632
0240-22-4141

Jヴィレッジ



ユニフォームなどの展示品も一見の価値あり



海の幸など新鮮な食材が豊富に並ぶ夕食



25メートルが4コースある室内温水プール

富岡高校



トレーニングルームには各種マシンも充実



校内には世界各地の時間がわかる表示板もある



自分の意見や考えを相手に伝えることを大切にしている



ふくしまをしる

識

ふくしま歴史探訪

円谷幸吉さん



東京オリンピック出場時の円谷選手

今年の北京五輪男子マラソン代表に、会津若松市出身の佐藤敦之さんが決定しましたが、今回は、東京五輪男子マラソン銅メダリストの円谷幸吉選手をご紹介します。円谷選手について、お兄さんの円谷敏雄さんにお話を伺いました。

厳格な父に育てられて
お父さんはとても厳しかつ

◆◆◆円谷幸吉選手とは？

1940年(昭和15)福島県須賀川町(現・須賀川市)生まれ。須賀川高校在学中からランナーとしての頭角を現す。高校卒業後、陸上自衛隊に入隊し同僚と二人で郡山自衛隊陸上競技部を設立。青東駅伝などの大会に出場し実績を上げる。1962年(昭和37)自衛隊体育学校(朝霞市)の第1期生として入学、オリンピック選手選考レースにおいて好記録をマークし、10,000mとマラソン競技で東京オリンピックに出場した。マラソン競技では、競技場内でイギリスのヒートレー選手に抜かれるも銅メダルを獲得し、次のオリンピックでの活躍も期待されたが、怪我などにより以前のような走りができなくなる。1968年(昭和43)1月、家族や関係者に宛てた遺書を残して自殺。享年27歳。

◆◆◆円谷選手のふるさとへの思い

自衛隊体育学校時代に、次のような作文を残している。
『一年に一度、青東駅伝で、ふるさとみちのくの空気をせいいっぱい吸えるのは、しあわせだ。山あり、川あり、民謡の宝庫であるわがふるさと。素朴で、なんのまじりけもない自然美を備えているふるさと。疲れたとき、ただ、ふるさとを思い出すだけですっきりし、心底からリラックスできる。ふるさとよ、いつまでも、変わらないで欲しい。私は、ふるさとを、いつまでも愛し続ける』
(橋本克彦著『オリンピックに奪われた命-円谷幸吉、三十年目の新証言』：小学館文庫より)

たそごうですね。

父の幸七は根つからの軍人で、夕方になると家の前に兄弟7人全員を並べて「貴公は云々」とか言いながら説教するんです。近所の人や友だちに見られて、恥ずかしかったですね。しかし、厳しいなかにも、いつも愛情を感じていました。特に末っ子の幸吉は、愛情をたっぷり受けていたと思います。

幸吉選手はどんな子どもでしたか。

本当に優しい人間で、甥や姪たちも慕ってました。弟が高校に入学した時、剣道をやってた私は竹刀を贈り、弟を剣道部に入部させたのですが、「叩かれるのは嫌だ」と言っ、退部してしまっただんです。上達すれば叩かれなないと説得したのですがダメでした。後になって考えれば、格闘技をやるには性格が優しかったのかもしれないですね。

正々堂々と勝負

オリンピックの時、幸吉選手は競技場でヒートレー選手に抜かれましたが、一度も後ろを振り返りませんでした。これはお父さんの教えを守ったと聞いています。

父は、小さい頃から私たちが徒競走で後ろを向いたりすると、「他人の動静を見ながら走るなんてもつての他だ」と言っ、こっぴどく怒りました。それでも私たち兄弟は、ヒートレー選手に抜かれそうになった時「幸吉、後ろを見ろ、来てるぞ！」と叫んだのですが、弟は振り返りませんでした。めったに人

を褒めない父でしたが、この時は「よくやった」と本当に嬉しそうでした。最後まで正々堂々勝負したことを誇らしく思っていたんですね。

ふるさとへの思い

幸吉選手はふるさとを愛していたようですね。

小さい頃から、私たち兄弟は、下の川(須賀川の通称)で魚取りや水遊びをしていて、弟は川のほとりを走ってよく練習をしていました。遺書には父母上様の側で暮らしたかったとありますが、自然豊かなふるさとで暮らしたかったという思いも強かったでしょう。豊かな自然環境が、優しい性格にも影響したのかもしれないですね。

円谷選手は、アスリートとしてだけでなく、人間としての奥深さがあり、福島県人の持つ優しさを純化させた人物だったのかもしれない。

須賀川市にある「円谷幸吉メモリアルホール」には、円谷家から引き継がれたたくさんの資料が展示されています。一度、福島県人、円谷幸吉選手に会いに来てみませんか。



円谷幸吉メモリアルホール
須賀川市牛袋5 須賀川アリーナ内
電話0248-76-8111
9時~17時 月曜休館 入館料無料



幸吉選手も走った須賀川のほとり



幸吉選手が東京オリンピックで履いていたシューズ



お話を伺った円谷敏雄さん



大盛況でした 『ふくしまファンのつどい』 … ご来場ありがとうございました …

編集・発行 ふくしまファンクラブ事務局 〒960-8670 福島県福島市杉妻町2-16 福島県企画調整部地域振興グループ 電話 024-521-7114 <http://www.pref.fukushima.jp/fui/>



前号でお知らせしたとおり、2月16日(土)に東京大手町のJABビルで『ふくしまファンのつどい』を開催しました。

会場には、ファンクラブ会員の方を始めとして約500名が集まり、伝統工芸の実演や体験、郷土料理の試食、語り部による昔語り、ASAKAフィメールコールTOKYO(安積黎明高校OG合唱団東京支部)のミニコンサート、佐藤雄平知事とゲストの小椋佳さんによるトークショーなど、約3時間のふくしま体験を楽しんでいただきました。

トークショーでは知事や小椋さんから福島県の魅力が語られる度に拍手や歓声が起こり、またミニコンサートの最後には「故郷」を来場された方々全員で歌うなど、会場は福島県への熱い思いに溢れました。試食コーナーや体験ブースも大盛況となり、ふくしまファンと地元ふくしまの人との絆が一層深まったイベントになりました。

来場くださった方にはこの場をお借りして感謝申し上げますと同時に、いろいろ不便をおかけしたことをお詫び申し上げます。

今後も様々な福島県イベントを紹介いたしますので、今回来場できなかった方もぜひぜひ足をお運びください。

ふくしまのすてきなもの プレゼントクイズ

クイズに答えてくれた方の中から抽選で5名様に、マリーゼTシャツをプレゼント!

問題

女子サッカーチーム「マリーゼ」のホームグラウンドでもある日本サッカーのナショナルトレーニングセンターの名称は? ヒントは2ページ目

答:○ヴィレッジ アルファベット1文字です



応募方法 官製はがきに郵便番号、住所、氏名、電話番号、会員番号、クイズの答え、希望サイズ(S/M/L/LLのいずれか)、今回の会報の感想などを明記し、下記のあて先へお送りください。

応募締切 4月30日(水)必着
あて先 〒960-8670 福島県福島市杉妻町2-16
福島県観光交流課(※)

ふくしまファンクラブ「プレゼント」係

*当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。お預かりした個人情報は、賞品の発送などファンクラブに関する事務以外に使用することはありません。福島県個人情報保護条例に基づき、個人情報の目的外利用はいたしません。

※ ふくしまファンクラブ事務局は、4月1日より「商工労働部 観光交流局 観光交流課」へ移ります。